



ショートコメント

★★★

Data 2022-120

監督：ゾーヤー・アクタル
出演：リティク・ローシャン
/アバイ・デーオール/
ファルハーン・アクタル
ル/カトリーナ・カイ
フ/カルキ・ケ克蘭

人生は二度とない

2011年/インド映画
配給：SPACEBOX/153分

2022 (令和4) 年11月1日鑑賞

シネ・リーブル梅田

みどころ

誰でも、プロポーズは一時の勢いでやってしまうもの！？しかし、その成否は？インド人のイケメン仲良し3人組による“独身サヨナラ旅行”の舞台はスペイン！そこから始まる153分の“人生讃歌”はおおむね好評だ。

たしかに、①ブニョールのトマト祭り、②パンブローナの牛追い祭り等のイベントは素晴らしい。スキューバダイビングとスカイダイビングも同じ。さらに、インド映画らしい歌も踊りもグッド！

しかし、本作はそれだけ！？冒頭とラストの“ひねり”がミソらしいが、そんな子供騙し(?)では153分の長尺はもたないのでは・・・？

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆インド映画は長いものが多い。仲良しのイケメン3人男によるスペイン横断旅行を描いた「青春モノ」たる本作も、2時間33分と長尺。しかし、本作を見れば、スペインの美しい風景はもとより、①ブニョールのトマト祭り、②パンブローナの牛追い祭りをはじめて見物することができるし、③スキューバダイビング、④スカイダイビングも楽しむことができるから、盛りたくさん。そのうえ、フラメンコの踊りやダンスを交えた楽しい歌もたっぷり。それだけあれば、十分モトは取れるはず。大阪人の私はそう思ってスクリーンに臨んだが・・・。

◆本作の冒頭は、大富豪の娘ナターシャ(カルキ・ケ克蘭)にうやうやしくプロポーズするカビール(アバイ・デーオール)の姿から始まる。そして、2人の結婚が決まったことで、学生時代からの“仲良し3人組”が“独身サヨナラ旅行”を計画し、それが3週間のスペイン横断の旅に決まったところからストーリーが進行していく。そこで最初に抑えておかなければならないのは3人の個性だ。

まず、アルジュン(リティク・ローシャン)は金融ブローカーとして富を求める男。その価値観や生き方は徹底しているから分かりやすい。コピーライターのイムラン(ファルハーン・アクタル)はどこにでもよくいる皮肉屋で、3人がつるむ時はいつも茶化して

しまう男だ。もっとも、旅行中に電話をかけすぎるからといって、アルジュンが命よりも大切にしているケータイを車の中から投げ捨ててしまうのは、いくら何でもやりすぎ！3人の中で一番まともなのはカビールだが、本作では旅行の中で彼の意外な“出自”が明らかされるので、それに注目！

しかして、なぜカビールの結婚決定後そんな企画が急にまとまったの？その説得力がなければ、そもそも本作のスペイン旅行の説得力がないのでは・・・？

◆独身最後の、男だけの仲良し3人旅行。本作はそんな設定だが、スキューバダイビングのイベントで予約していたインストラクターが美しい女子学生レイラ（カトリーナ・カイフ）だったところから、異変が！泳げないアルジュンは、スキューバダイビングそのものに抵抗していたのに、「レイラと一緒に！」となると俄然乗り気に！そして、スキューバダイビングの魅力にゾッコンになったが、同時にレイラの魅力にもゾッコンに？

他方、カビールは旅行中も毎日チャットで新婦のナターシャと連絡を取っていたが、チャット画面に現れたレイラを見て、夫の浮気を疑ったナターシャが突然、旅行先にやってきたから、さあ大変。さらに、さらに・・・。

◆本作はスペイン旅行のガイド本としてはたしかによくできている。スキューバダイビングに見る海の中の美しさはもとより、スペイン各地の美しい風景は見応え十分。インド映画特有の歌と踊りも悪くないが、いつまでも続くと、いい加減飽きてくる。さらに、本作のストーリーはよくできていると言えはたしかにその通りだが、私に言わせれば、あまりに単純！これなら中国のTVドラマとして毎週観ていた『30女の生きる道』の方がよほど面白い。それが私の実感だが・・・。

◆長いスペイン旅行のラストは、パンブローナの「牛追い祭り」。そこでは、3人の男たちがそれぞれの自分の決断を下すことを余儀なくされる（？）わけだが、そこでそれぞれが下す決断が本作のミソだ。金儲け至上主義だったアルジュンが、レイラとの出会いの中で「金よりも大切なものがある」と気づくストーリーは誰でも想定できるのに対して、本作最大の“事件”は、冒頭にみた“プロポーズ”に何か手違いがあったことが明らかにされることだ。その“反省”（？）の上に、カビールがナターシャへの結婚の意思表示を撤回してしまうと・・・？これは法的には「婚約の不当破棄」として損害賠償の対象になること确实だが、そんなことは些細な問題。「人生は二度とない」ことを考えれば、そんなカビールの決断は素晴らしいと言わなければならない。

本作はネット上で老若男女の評価が高のが、私には意外。もう1度繰り返せば、私には中国TVドラマの『30女の生きる道』の方が、よほどよく出来ていると思うのだが・・・。

2022（令和4）年11月8日記